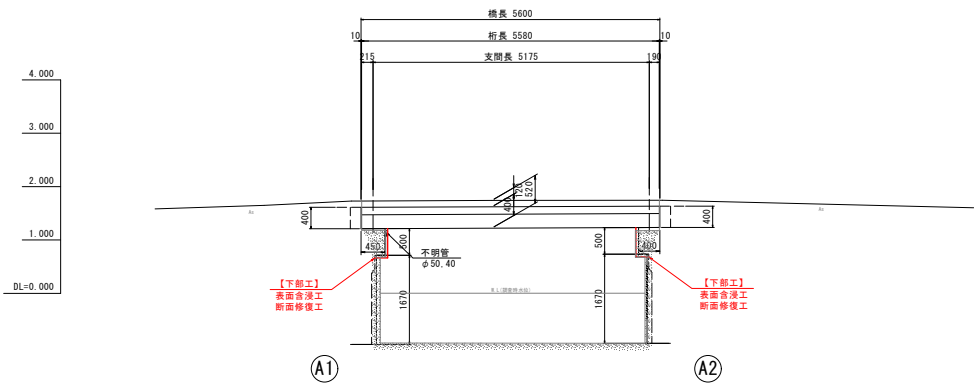


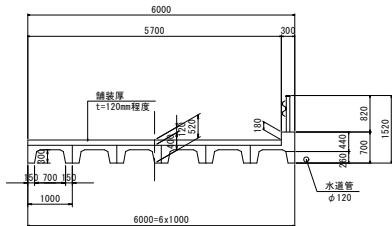
補修一般図 S=1:50

明神下本城西1号線2号橋

側面図



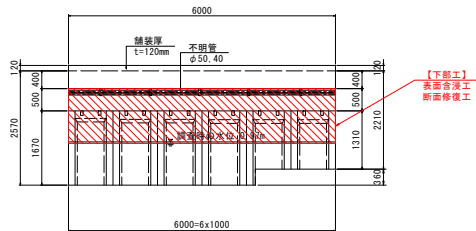
断面図 S=1:60



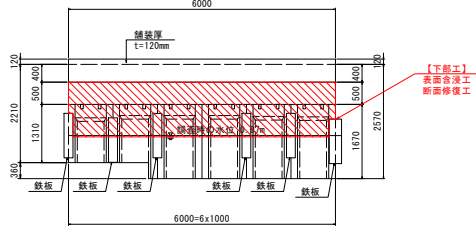
設計条件	
道路条件	
路線	明神上本城西1号線
道路規格	不明
設計速度	不明
設計荷重	不明
大型車交通量	-
計画交通量	-
交差物件	水路
幾何条件	
橋名	明神上本城西1号線2号橋
橋長	L=5,600m
桁長	5,580m
支間長	5,175m
総幅員	6,000m
有効幅員	5,700m
斜角	$\theta = 90^{\circ} 00' 00''$ (道路中心)
平面線形	R = ∞
縦断勾配	
横断勾配	
構造形式	
上部工	RC橋
舗装	アスファルト舗装 (t=120mm程度)
下部工	その他 (橋台)
基礎工	直接基礎 (想定)
支承	-

下部工正面図 S=1:60

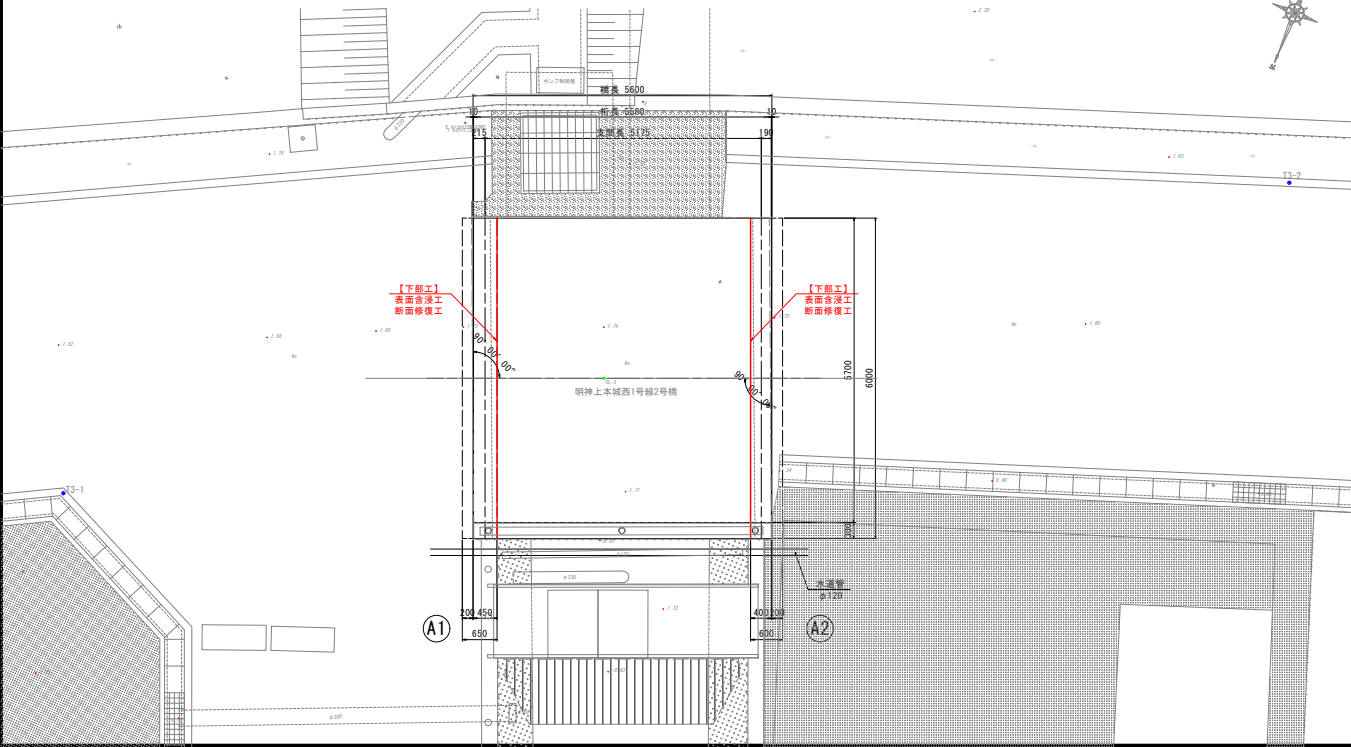
A1橋台



A2橋台



平面図

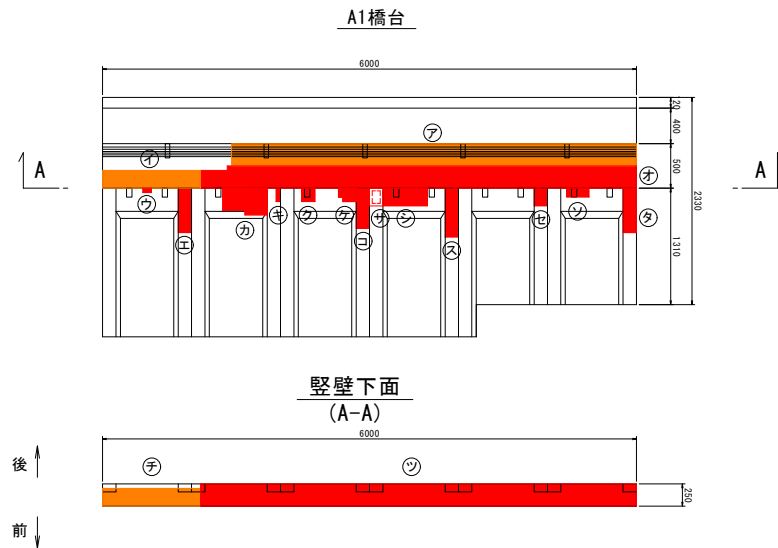


図面番号	第 1 号	図面総数	全 4 葉
工事名称	明神上本城西1号線2号橋橋梁補修工事		
図名	平面図 他		縮尺：図示
製作年月	令和7年7月	所属年度	令和7年度
係員	課 長	副課長	係 長 係 員 設計・製図 照 査
鳴門市 都市建設部 土木課			

補修詳細図(その1) S=1:30

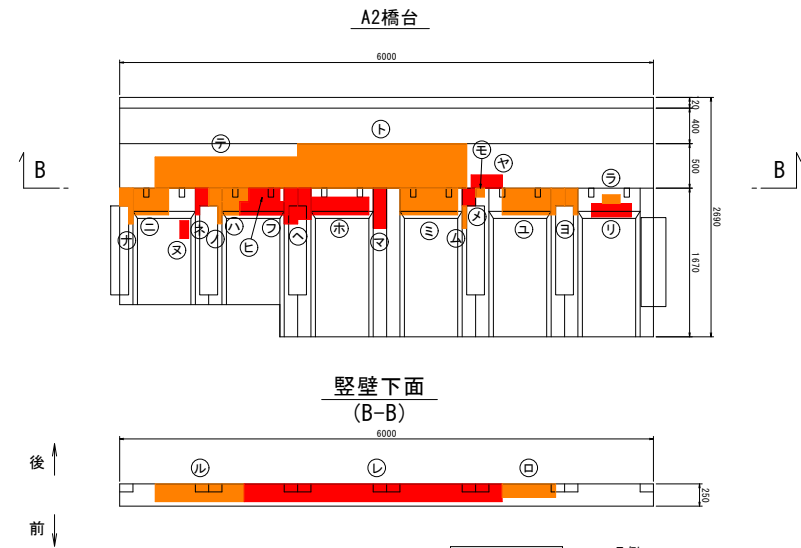
明神上本城西1号線2号橋

断面修復工



凡	例
うき	
割離	
鉄筋露出	

凡例
⑦～:断面修復工法



凡	例
うき	
割離	
鉄筋露出	

凡例
⑦～:断面修復工法

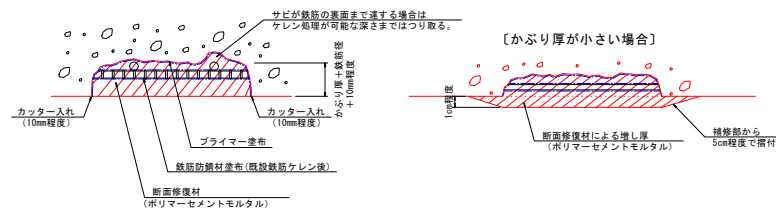
断面修復工詳細図

断面修復面積(左官工法)

部材	No.	種別	幅B [mm]	延長L [mm]	深さt [mm]	面積A [㎡]	体積V [㎥]
縦壁0101	ア	うき	250	4550	70	1.1375	0.0196
縦壁0101	イ	うき	200	1100	70	0.2200	0.0154
縦壁0101	ウ	鉄筋露出	50	100	70	0.0050	0.0004
縦壁0101	エ	鉄筋露出	150	500	70	0.0750	0.0053
縦壁0101	オ	鉄筋露出	250	4900	70	1.2250	0.0858
縦壁0101	カ	鉄筋露出	300	500	70	0.1500	0.0105
縦壁0101	キ	鉄筋露出	100	150	70	0.0150	0.0011
縦壁0101	ク	鉄筋露出	150	150	70	0.0225	0.0016
縦壁0101	ケ	鉄筋露出	150	200	70	0.0300	0.0021
縦壁0101	コ	鉄筋露出	150	450	70	0.0875	0.0047
縦壁0101	サ	剥離	150	200	70	0.0300	0.0021
縦壁0101	シ	鉄筋露出	200	500	70	0.1000	0.0070
縦壁0101	ス	鉄筋露出	150	150	70	0.0225	0.0016
縦壁0101	セ	鉄筋露出	150	200	70	0.0300	0.0021
縦壁0101	ソ	鉄筋露出	100	250	70	0.0250	0.0018
縦壁0101	タ	鉄筋露出	100	250	70	0.0250	0.0018
縦壁0101	チ	うき	200	1100	70	0.2200	0.0154
縦壁0101	ツ	鉄筋露出	250	4900	70	1.2250	0.0858

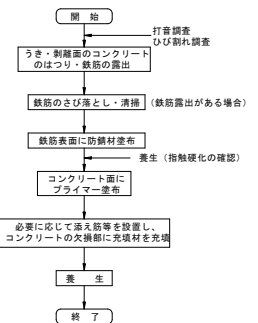
断面修復面積(左官工法)

部材	No.	種別	幅B [mm]	延長L [mm]	深さt [mm]	面積A [㎡]	体積V [㎥]
縦壁0102	字	うき	350	1000	70	0.2450	0.0172
縦壁0102	ト	うき	500	1900	70	0.6500	0.0455
縦壁0102	ナ	うき	150	400	70	0.0600	0.0042
縦壁0102	ニ	うき	200	400	70	0.1200	0.0084
縦壁0102	ヌ	鉄筋露出	100	200	70	0.0200	0.0014
縦壁0102	ホ	鉄筋露出	150	300	70	0.0450	0.0032
縦壁0102	ヘ	うき	150	400	70	0.0600	0.0042
縦壁0102	ハ	うき	300	300	70	0.0900	0.0063
縦壁0102	ヒ	鉄筋露出	150	350	70	0.0525	0.0037
縦壁0102	フ	鉄筋露出	150	400	70	0.0600	0.0042
縦壁0102	ヘ	鉄筋露出	300	400	70	0.1200	0.0084
縦壁0102	ホ	鉄筋露出	200	650	70	0.1300	0.0091
縦壁0102	マ	鉄筋露出	150	450	70	0.0675	0.0047
縦壁0102	ミ	うき	300	650	70	0.1950	0.0137
縦壁0102	ム	うき	50	250	70	0.0125	0.0009
縦壁0102	メ	鉄筋露出	150	200	70	0.0300	0.0021
縦壁0102	モ	うき	100	100	70	0.0100	0.0007
縦壁0102	ヤ	鉄筋露出	150	350	70	0.0525	0.0037
縦壁0102	ユ	うき	300	550	70	0.1500	0.0105
縦壁0102	ヨ	うき	300	300	70	0.0900	0.0063
縦壁0102	ラ	うき	100	200	70	0.0200	0.0014
縦壁0102	リ	鉄筋露出	150	450	70	0.0675	0.0047
縦壁0102	ル	うき	1000	200	70	0.2000	0.0140
縦壁0102	レ	鉄筋露出	200	2900	70	0.5800	0.0406
縦壁0102	ロ	うき	150	600	70	0.0900	0.0063



- ※ 使用する材料の仕様に基づいて施工すること。
- ※ 補修部縁端は、フェザーエッジが生じないようにカッターで切れ込みを入れること。
- ※ 鉄筋のかぶり厚が薄い場合は、ポリマーセメントモルタルで10mm以上は確保するように盛って振り付けの形で断面修復を行うこと。施工時の等級等の確認は可能な限り取り去って断面修復すること。
- ※ はつり深さは適宜調整するものとし、脆弱部は完全に除去して充填を行うこと。
- ※ 鉄筋がある場合は、既設鉄筋の背面、既設部材の粗骨材寸法程度まで除去する。(10～20mm程度)
- ※ 直線部で補修材が露出している部分においては脆弱部ははつり取り、健全部を露出してポリマーセメントモルタル等を塗布や充填して復旧すること。
- ※ はつりを行い、鉄筋が確認された場合は錆を除去した後、鉄筋防錆材を塗布すること。

〔断面修復工法の施工要領〕



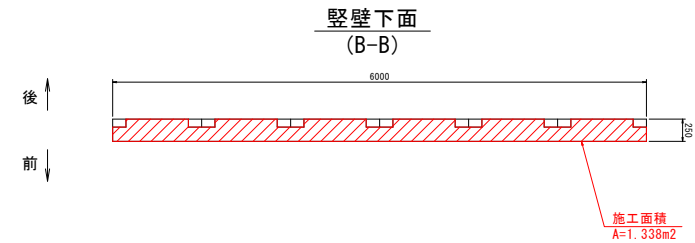
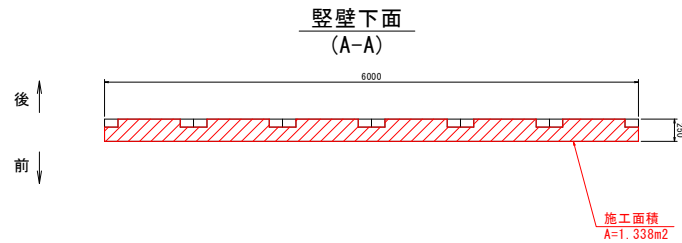
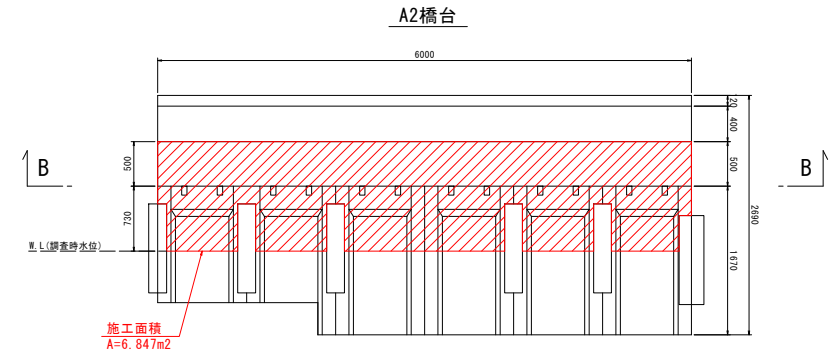
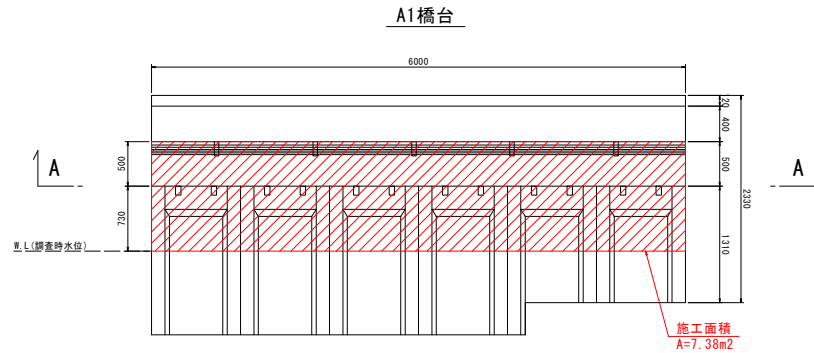
注) 現地実測の上、数量を確定すること。
注) 内部腐材の度合により断面欠損が発生している箇所については
断面性能回復を目的として、適宜、添え筋を行うこと。

図面番号	第 2 号	図面総数	全 4 葉
工事名称	明神上本城西1号線2号橋梁補修工事		
図名	平面図 他	縮尺: 図示	
製作年月	令和7年7月	所属年度	令和7年度
係員	課長	副課長	係長
			係員
設計・製図 照査			
鳴門市 都市建設部 土木課			

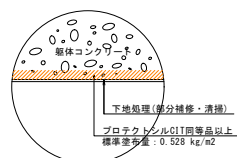
補修詳細図(その2) S=1:30

明神上本城西1号線2号橋

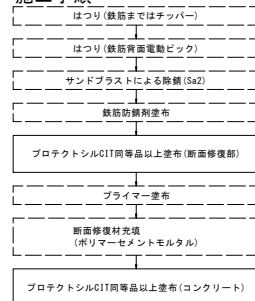
表面含浸工



詳細図



施工手順



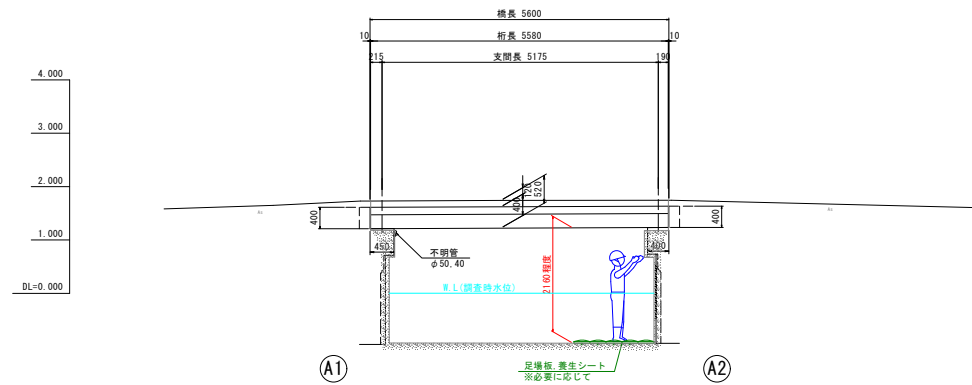
注) 現地実測の上、数量を確定すること。

図面番号	第 3 号		図面総数		全 4 葉	
工事名称	明神上本城西1号線2号橋橋梁補修工事					
図名	平面図 他				縮尺：図示	
製作年月	令和7年7月		所属年度		令和7年度	
係員	課 長	副課長	係 長	係 員	設計・製図	照 査
鳴門市 都市建設部 土木課						

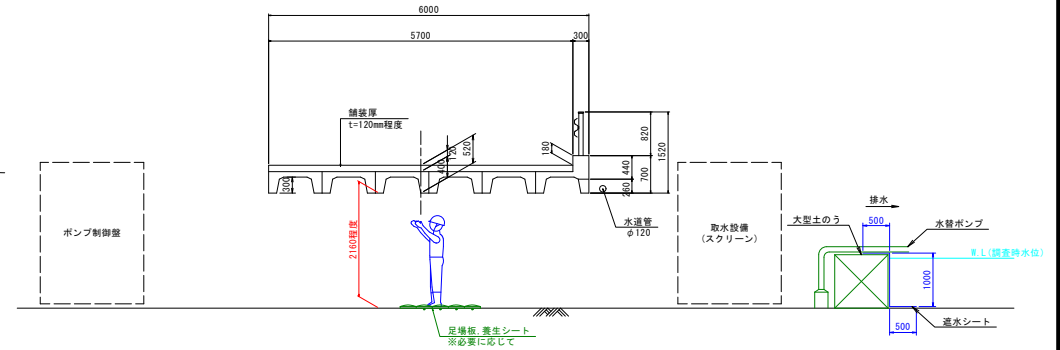
施工要領図 S=1:50

明神上本城西1号線2号橋

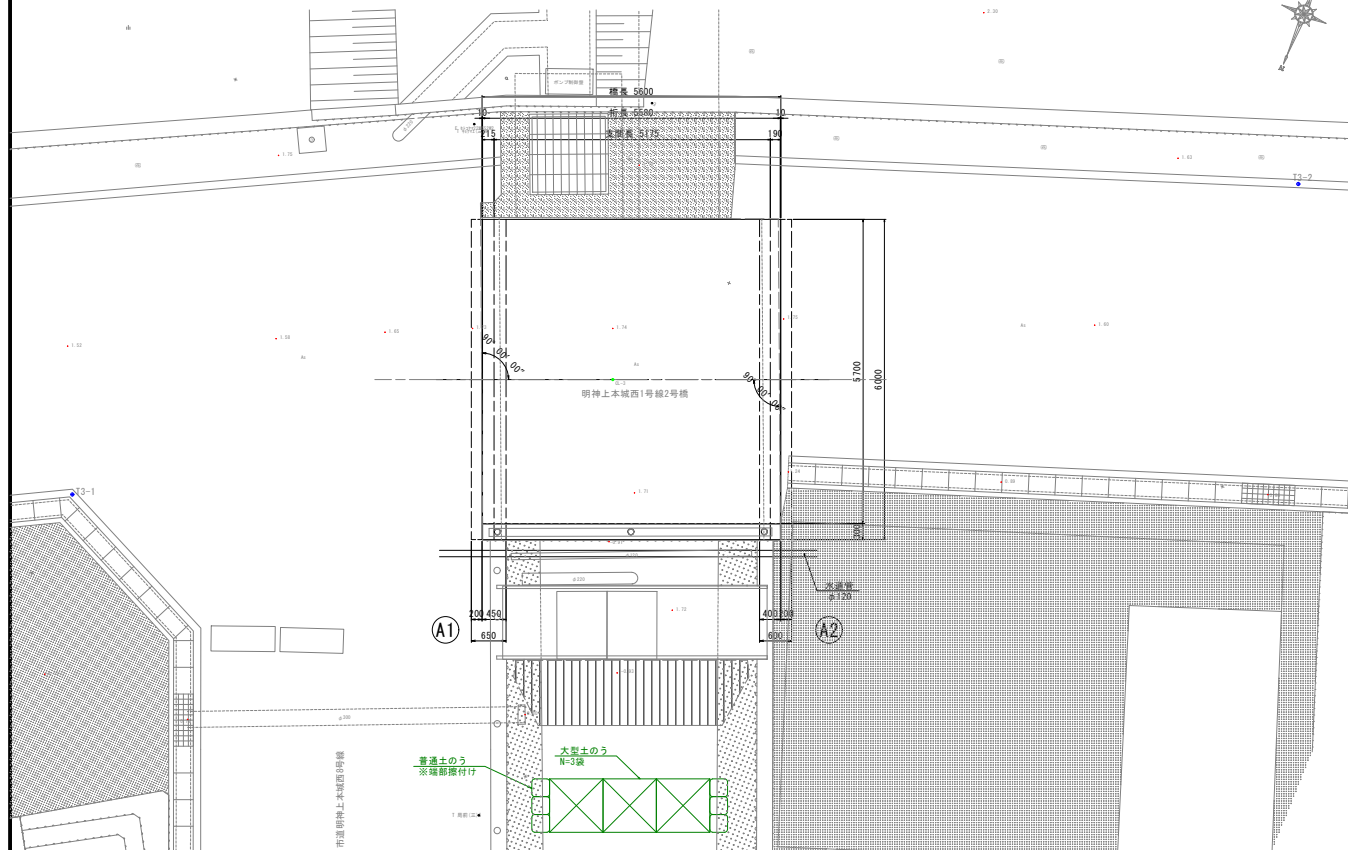
側面図



断面図



平面図



図面番号	第 4 号		図面総数		全 4 葉	
工事名称	明神上本城西1号線2号橋橋梁補修工事					
図名	平面図 他				縮尺：図示	
製作年月	令和7年7月		所属年度		令和7年度	
係員	課 長	副課長	係 長	係 員	設計・製図	照 査
鳴門市 都市建設部 土木課						